

ノロウイルスによる胃腸炎

ノロウイルス性胃腸炎とは

ノロウイルスは以前は小型球形ウイルス(SRSV)と呼ばれていましたが、平成15年8月より「ノロウイルス」と呼ばれるようになりました。最近になって集団感染が多く報告されるようになり、有名になってきています。

食品(カキなど)や飲料水を介して感染し食中毒の原因となりますが、人から人への感染も多く見られます。その場合、経口感染がほとんどですが、嘔吐物や便からの飛沫感染もあります。毎年、11月～3月の冬場に幼稚園や学校で流行があり、「**感染性胃腸炎**」あるいは「**流行性嘔吐下痢症**」とも呼ばれています。子供の場合には通常は重症になることはありませんが、平成16年末以来全国の高齢者施設で流行し、死者も多く出ていますので、十分な注意が必要です。

どんな症状

感染から発症まで1～2日間かかります。主な症状は嘔吐と下痢で、特徴的なのは発病当初に嘔吐・腹痛など激しい症状をおこすことです。**嘔吐は発症後1～3日で改善しますが、下痢は長引くことがあります。また、症状消失後も1週間～2週間は便からウイルスが排出されます。**一度感染しても抗体の力は弱く、またタイプが何種類もあるため何度も感染します。平成19年冬より、迅速診断キットで診断できるようになりました。



(+)

治療は

ウイルスによる腸炎ですので特別な治療法はありません。一般的な嘔吐と下痢の対症療法となります。嘔吐が激しいことが多いので点滴を必要とすることも多くみられます。症状の見られる間は登園・登校禁止とします。治癒証明書が必要な場合もありますので園・学校にご相談ください。

予防および対処法

感染予防の基本は手洗いです。特に調理前、食前、排便後には石けんで丁寧に手を洗いましょう。手拭きタオルの共用はしないようにしましょう。

消毒には次亜塩素酸ナトリウムが効果があります。**家庭用のハイタ - などの塩素系漂白剤(5%)**や**ほ乳びん消毒薬のミルトン(1%)**などを薄めて**0.05～0.5%の消毒薬を作ります。**ウイルスに汚染される可能性のある物、場所(トイレ、水洗トイレのレバー、手洗い場や流し、手すり、ドアノブ、玩具など)の消毒をしましょう。

調理器具などは、85℃で1分以上加熱すれば消毒になります。

糞便や吐物は早急に処理しましょう。なるべく使い捨てのマスクと手袋を使用して、ペーパータオルや新聞紙などで拭き取った後に、消毒薬で浸すように拭き取ります。30分位おいてよく水拭きします。汚物、おむつや拭き取りに使ったもの(手袋、ペーパータオルなど)は消毒薬を入れたビニール袋に密封して廃棄します。

汚れた衣類やシーツなどは、消毒薬に約30分つけ置き消毒してから、他のものと分けて洗濯しましょう。